小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	株式会社 シェルパ	代表者	石川　洋一
事業所名	ぼやあ樹松本町	管理者	池田　愛子

法人・事業所の特徴	「お客様の希望をカタチに」をモットーに、ご利用者様1人1人に合ったケアを心掛け、「自分らしい」生活が出来るように支援をしています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	1人	3人	1人	人	9人	人	17人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き定期的なミーティングを実施。地域連携を強化していく。	スタッフ間での情報共有として定期的なミーティングを実施し、ご利用者様のケアや運営について意見交換している。	・しっかり自分の事業所を評価できていると思う。 ・チームとしてやっているのが伝わる。	スタッフ1人1人がチーム意識を持ち、引き続き適切なケア・運営を行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	整理整頓を行い、居心地の良い空間作りの徹底。 外観の工夫をしていく。	大幅な模様替えを行い、整理整頓に力を入れた1年だった。	・あれだけのイベントなどをやっているわりには片付いていると思う。 ・引き続き物を元に戻す習慣をつけたい。	物の配置に常に気を配り、環境整備を徹底する。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き気軽に声をかけていただけるような事業所を目指し活動していく。地域への発信を引き続き行う。	地域の方に気軽に声をかけて頂けるような事業所を目指し、地域の方も参加できるイベントなどを行った。	・地域とのつながりは重要だと思う。 ・今後もイベントを開催してほしい。	引き続き地域の方も参加出来るようなイベントを開催し、親しみのある事業所を目指す。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	できる限りイベントに参加し、ご利用者様と地域を繋げていく。	ご利用者様の利用状況等のタイミングが合わず、地域イベント等の参加は出来なかったが、散歩中お店に立ち寄るなどして地域の方と関わる機会が増えた。	・今後も参加できるイベントには参加してほしい。 ・散歩に行くと地域のことが知れて楽しかった。	散歩や町内会のイベント等を通して、ご利用者様と地域の関わりを深くしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	参加方法の選択肢を増やす。より充実した内容になるよう工夫していく。	運営推進会議で頂いた意見を運営に活かせるよう努めた。オンライン会議が出来なかった。	・オンラインでの参加ができるといい。	参加方法の選択肢（オンライン等）を増やし、より多くの方に参加して頂けるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	防災・防犯面で周りへの発信を強化していく。	ご利用者様と一緒に防災防犯面での行動確認ができた。	・町内会と防災訓練をタイミングが合えば一緒にやりたい。 ・地域の拠点としても使わせてほしい。	防災・防犯面に関して、スタッフ間で情報共有を徹底し、ご利用者・ご家族様・地域へ発信していく。